

昼間小学校では、クラウドサービスを活用したペーパーレス化による業務改善に取り組んでいます。



「Google Workspace for Education」の活用

チャット機能で情報共有

教員・児童との情報共有に、チャット機能を活用！ 休暇や出張時の連絡に便利！

Google classroomで校務の情報を集約

- 校外掲示・作品出品 関係
学校訪問
トピック内に資料を保存
運動会関係

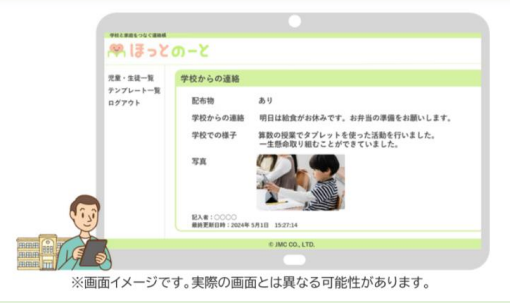
サーバーの共有フォルダを利用するようなイメージ

会議・研修では、共同編集機能を用いて資料を共有

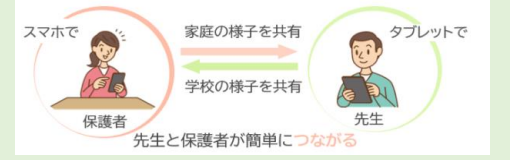
資料にコメントすることができます。

会議資料を事前に共有していれば、事前に内容を確認することができ、Web上で事前に協議することができるため、会議時間の短縮に繋がります。

学校と家庭をつなぐデジタル連絡帳「ほっとのーと」の導入



これまで、特別支援学級では、「紙」の連絡帳でその日の児童の様子等についてやりとりを行って... 先生と保護者が簡単につながる



サービスを通じた学校との「つながり」がセーフティーネットとして機能します。

校務のクラウド化 ↔ 授業のクラウド化

「紙がなくなっていく」ことで、教員の「働き方」が変わっていきます。

GIGAの本質 → 一人一台のクラウド運用 (クラウド・バイ・デフォルトの原則) 併せてご覧ください。10月末まで視聴可能です。

働き方+1 昼間小学校では、夏休み明けの子供の体調を考慮し、授業時数を十分に確保しつつ、2学期の始めの1週間は13時30分下校としました。その期間、教員は児童下校後、学校行事に向けた自主的なミーティングや研修を行うなど、職員のチームビルディングやスキルアップに注力することができました。